

2002.9.1

第11回 TOSS インターネット福岡会議レポート

転用可能！ 乱数を使ったフラッシュカードサイトの設計

<http://homepage2.nifty.com/87onuki/index.htm>

Macromedia Flash の乱数を使ったフラッシュカードサイトを提案する。大きな特長は次の2つである。

- (1) 乱数を使っているので、子どもが挑戦するたびに違った順序でフラッシュカードの学習ができる。何回かやるうちに順序を覚えてしまい学習効果が低まるということがない。
- (2) この提案後、雛形を公開しダウンロードができるようにする。英語や漢字といったコンテンツと同様のフラッシュカードサイトが簡単に作れるようになる。(ダウンロードサイト：
<http://homepage2.nifty.com/87onuki/FlashTechnique/TechnicalTips.htm>)

1. フラッシュカード「フラッシュ！」サイト作成コンテンツ

- (1) ローマ字フラッシュ！(TOSS-LAND 5410554)
- (2) かけざんフラッシュ！(TOSS-LAND 5420358)
- (3) ひらがなふらっしゅ！(TOSS-LAND 登録申請中)
- (4) すうじふらっしゅ！(TOSS-LAND 登録申請中)
- (5) 都道府県庁所在地フラッシュ！(作成中)

2. 「フラッシュ！」サイトの詳細

- (1) ねらい
フラッシュカードで反復練習を行うことで内容の定着を図る。
- (2) 使い方
教師(または保護者)とともにやる。授業でプロジェクターに写して使うことを想定している。ただし一度やり方を覚えたら、子どもが家庭学習として行うこともできる。(コンテンツによっては異なることもある。詳しくは各サイトの「使用法」に記載)
- (3) 特長
出てくる順番が決まっていない。(前述)
ペースが一定である。
一定のペースでカードが出る。テンポにぶれやずれがない。

音で区切れが分かる。

段が変わるたび、カチッと音がする。音でも区切れが分かる。

スモールステップで学習できる。

「あ行」や「二の段」のように限定して学習できる。

色で区別できる。

たとえば「あ行」は赤、「×3」は黄緑と、サイト全体で共通した色分けをしている。スモールステップで学びながら、色で関係が分かる。

2種類の速さがある。

速さに2つ以上のコースを用意した。定着度によって使い分けができる。

一度作ると応用が利く。(前述)

3. 学習の流れ(「ローマ字フラッシュ！」を例に)



(1) トップページで行を選ぶ。

(2) その中からコースを選ぶ。

(3) 平仮名とローマ字がランダムに現れる。

(4) 10回練習すると、次への選択画面が出る。

クリックしてね！

ひらがなから(ふつう)

ひらがなから(はやい)

ローマ字から(ふつう)

ローマ字から(はやい)

あ

もういちど

メニューへ

11/9TOSS 江戸前フレッシュ講座(東京・神田) もちろん TOSSLAND を使った模擬授業もあります。

問い合わせ：菅咲子(かん・さきこ) skks12@pop01.odn.ne.jp講座 HP：<http://homepage2.nifty.com/87onuki/edo9-info.htm>

